

2021年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	京成電鉄株式会社
---------	----------

本年度整備費	277 百万円
--------	---------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	駅	番線	
エレベーター	駅	基	
エスカレーター	駅	基	
スロープ	駅	ヶ所	
内方線付点状ブロック	駅	番線	
段差隙間縮小に資する設備	駅	番線	
バリアフリートイレ	駅	ヶ所	
車両のフリースペース	編成	両	
その他	10	駅	誘導案内設備：大佐倉駅など
備考			

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	駅
	二経路以上確保駅	駅

本年度徴収額	百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)			
備考	2024年3月16日より收受開始		

本年度までの累計整備費	277 百万円
本年度までの累計徴収額	0 百万円

2021年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	1 駅	1 基	勝田台駅 (新規)	14 百万円
エスカレーター	駅	基		百万円
スロープ	駅	ヶ所		百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線		百万円
段差隙間縮小	駅	番線		百万円
バリアフリートイレ	駅	ヶ所		百万円
車両のフリースペース	編成	両		百万円
その他	各 駅 ※1			11 百万円
備考	※1 誘導案内設備：大佐倉駅など10駅 (盲導鈴・案内サインなど)			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	1 駅	1 基	成田空港駅 (新規)	54 百万円
エスカレーター	駅	基		百万円
バリアフリートイレ	駅	ヶ所		百万円
車両	編成	両		百万円
その他	各 駅 ※2			13 百万円
備考	※2 誘導案内設備：京成金町駅など10駅 (盲導鈴・蝕知案内図など)、渡り板：勝田台駅など4駅			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費	159		百万円	
収受システム改修費			百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	25		百万円	
備考	維持管理費は、エレベーター、ホームドア等の維持管理に要した費用を示す。			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	4番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	0番線	100%	0駅	0%	1駅	100%
2025年度	0番線	100%	2駅	100%	0駅	100%
累計	4番線	100%	2駅	100%	1駅	100%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	4番線	11%	1駅	33%	駅	%
2027年度	6番線	28%	0駅	33%	駅	%
2028年度	6番線	44%	1駅	67%	駅	%
2029年度	5番線	58%	0駅	67%	駅	%
2030年度	4番線	69%	1駅	100%	駅	%
2031年度	1番線	72%	0駅	100%	駅	%
2032年度	2番線	78%	0駅	100%	駅	%
2033年度	2番線	83%	0駅	100%	駅	%
2034年度	2番線	88%	0駅	100%	駅	%
2035年度	4番線	100%	0駅	100%	駅	%
累計	36番線	100%	3駅	100%	駅	%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
例) ○○駅ホームドア整備事業（××駅△△番線）			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

2022年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	京成電鉄株式会社
---------	----------

本年度整備費	598 百万円
--------	---------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	駅	番線	
エレベーター	駅	基	
エスカレーター	駅	基	
スロープ	駅	ヶ所	
内方線付点状ブロック	駅	番線	
段差隙間縮小に資する設備	駅	番線	
バリアフリートイレ	駅	ヶ所	
車両のフリースペース	編成	両	
その他	3	駅	誘導案内設備：菅野駅など3駅
備考			

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	駅
	二経路以上確保駅	駅

本年度徴収額	百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)			
備考	2024年3月16日より収受開始		

本年度までの累計整備費	875 百万円
本年度までの累計徴収額	百万円

2022年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	1 駅	4 番線	押上駅 (新規)	62 百万円
エレベーター	駅	基		百万円
エスカレーター	駅	基		百万円
スロープ	駅	ヶ所		百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線		百万円
段差隙間縮小	駅	番線		百万円
バリアフリートイレ	駅	ヶ所		百万円
車両のフリースペース	編成	両		百万円
その他	各 駅 ※1			21 百万円
備考	※1 誘導案内設備：菅野駅など3駅 (行先表示器・盲導鈴・触知図案内板など)			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	1 駅	1 基	成田空港駅 (継続)	12 百万円
エスカレーター	1 駅	2 基	京成上野駅 (新規)	73 百万円
バリアフリートイレ	駅	ヶ所		百万円
車両	編成	両		百万円
その他	各 駅 ※2			231 百万円
備考	※2 誘導案内設備：京成船橋駅など8駅 (行先表示器・盲導鈴・触知図案内板など)、渡り板：日暮里駅など11駅			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費	175		百万円	
収受システム改修費			百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	24		百万円	
備考	維持管理費は、エレベーター、ホームドア等の維持管理に要した費用を示す。			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	4番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	0番線	100%	0駅	0%	1駅	100%
2025年度	0番線	100%	2駅	100%	0駅	100%
累計	4番線	100%	2駅	100%	1駅	100%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	4番線	11%	1駅	33%	駅	%
2027年度	6番線	28%	0駅	33%	駅	%
2028年度	6番線	44%	1駅	67%	駅	%
2029年度	5番線	58%	0駅	67%	駅	%
2030年度	4番線	69%	1駅	100%	駅	%
2031年度	1番線	72%	0駅	100%	駅	%
2032年度	2番線	78%	0駅	100%	駅	%
2033年度	2番線	83%	0駅	100%	駅	%
2034年度	2番線	88%	0駅	100%	駅	%
2035年度	4番線	100%	0駅	100%	駅	%
累計	36番線	100%	3駅	100%	駅	%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
例) ○○駅ホームドア整備事業（××駅△△番線）			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

2023年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	京成電鉄株式会社
---------	----------

本年度整備費	1,595 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	1 駅	4 番線	押上駅
エレベーター	駅	基	
エスカレーター	駅	基	
スロープ	駅	ヶ所	
内方線付点状ブロック	駅	番線	
段差隙間縮小に資する設備	駅	番線	
バリアフリートイレ	駅	ヶ所	
車両のフリースペース	編成	両	
その他	47	駅	誘導案内設備：大森台駅など
備考			

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	4	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	駅
	二経路以上確保駅	駅

本年度徴収額	61 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	50	11	
備考	2024年3月16日より收受開始		

本年度までの累計整備費	2,470 百万円
本年度までの累計徴収額	61 百万円

2023年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	1 駅	4 番線	押上駅 (継続)	414 百万円
エレベーター	1 駅	1 基	勝田台駅 (継続)	13 百万円
エスカレーター	1 駅	1 基	勝田台駅 (新規)	31 百万円
スロープ	駅	ヶ所		百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線		百万円
段差隙間縮小	駅	番線		百万円
バリアフリースイレ	駅	ヶ所		百万円
車両のフリースペース	編成	両		百万円
その他	各 駅 ※1			5 百万円
備考	※1 誘導案内設備：大森台駅など47駅 (盲導鈴・案内サインなど)			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	駅	基		百万円
エスカレーター	4 駅	8 基	ユ-カリが丘駅・八千代台駅・勝田台駅・谷津駅 (新規)	426 百万円
バリアフリースイレ	駅	ヶ所		百万円
車両	編成	両		百万円
その他	各 駅 ※2			294 百万円
備考	※2 運行情報提供設備：全65駅 (行先表示器含む)、誘導案内設備：日暮里駅など7駅 (盲導鈴・案内サインなど)、渡り板：京成上野駅など21駅			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費		265	百万円	
収受システム改修費		8	百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		137	百万円	
備考	維持管理費は、エレベーター、ホームドア等の維持管理に要した費用を示す。			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	4番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	0番線	100%	0駅	0%	1駅	100%
2025年度	0番線	100%	2駅	100%	0駅	100%
累計	4番線	100%	2駅	100%	1駅	100%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	4番線	11%	1駅	33%	駅	%
2027年度	6番線	28%	0駅	33%	駅	%
2028年度	6番線	44%	1駅	67%	駅	%
2029年度	5番線	58%	0駅	67%	駅	%
2030年度	4番線	69%	1駅	100%	駅	%
2031年度	1番線	72%	0駅	100%	駅	%
2032年度	2番線	78%	0駅	100%	駅	%
2033年度	2番線	83%	0駅	100%	駅	%
2034年度	2番線	88%	0駅	100%	駅	%
2035年度	4番線	100%	0駅	100%	駅	%
累計	36番線	100%	3駅	100%	駅	%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
例) ○○駅ホームドア整備事業（××駅△△番線）			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。